



学校だより

令和3年9月29日

ひびき

10月号

昭和54年3月3日制定

横浜市立獅子ヶ谷小学校

## 失敗は成功の準備運動

児童支援専任 西 信成

日に日に秋の深まりを感じる季節となりました。

去る9月21日(火)は、実に8年ぶりとなる「中秋の名月」と満月が重なる日でした。丁度曇も少なかったので、美しい満月を見られた方もいらっしゃるのではないかと思います。古来より、日本の文学や俳句などには、月がよく登場します。かの有名な『竹取物語』もその一つです。そう考えると、時代は変わっても、月を愛でる、月に思いを馳せるという行為は変わらないのだなと感慨深くなります。

さて、冒頭の挨拶で秋について触れましたが「スポーツの秋」「芸術の秋」「読書の秋」など、秋には沢山の呼び名があります。言い換えると、様々なことに挑戦する時期でもあると言えます。子ども達からも、「〇〇を始めてみた」や「〇〇をがんばっている」といった話を耳にします。中には、「やり始めたことがうまくいかなかったからやめようと思ったけど諦めずに続けている。」という話をしてくれた児童もいました。また、普段の会話だけでなく、授業の中でも、「失敗しても諦めずに継続していることがある。」と発言した児童もいました。「失敗しても諦めない」という姿勢をもった児童が多くいることに、私も嬉しくなりました。

私が好きな言葉の一つに、「失敗は成功の準備運動」というものがあります。初めて聞いた時、「なるほど」と思いました。「失敗は成功のもと」や「失敗は成功の母」という言葉はよく耳にします。意味合いは同じですが、とても前向きな気持ちになれる言葉だなと感じました。それ以来、何かに挑戦する際にはこの言葉を思い出し、取り組んでいます。

学校生活において10月は、前期が終わり、後期が始まります。前期の自分の学校生活を振り返り、後期に生かしていく、つまり、「新しい目標を立てる・新しい目標に向かって挑戦していく」時期でもあります。

様々なことに前向きに取り組むことのできる獅子ヶ谷小学校の児童です。失敗することを後ろ向きに捉えず、新しいことに挑戦してほしいと思います。また、我々も、児童が安心して挑戦できるよう、そして、自信を付けていくができるよう支援してまいります。

後期になりましても、保護者の皆様や地域の皆様と一緒に、児童のよりよい成長を支援できたらと思います。今後ともよろしくお願い致します。